



佐佐木隆演劇碑



隆

一本

漁夫一生

竿

佐佐木隆 八二〇九一九六七秋田が
 生シテ昭和劇壇ノ鬼才デアル
 彼ハ秋田市楳山九郎兵衛殿町ニ生レ
 然レ小學校ニ秋田商業拓殖大學ヲ卒業演劇
 ヲ志シテ丹上三天演劇道場入り流シ劇山
 文化座ヲ創ニシテ三好一郎作品ヲ始メ又其ノ
 心ヲ打ツアノタノ優シク演劇界ヲ演シタ
 妻鈴不沈彼トノ間ニ女佐々不愛ガアル
 コノ碑ヲ建テル者ハ彼ノ死ヲ惜シム全副
 劇愛好者有志ニテ

昭和五十四年九月二十五日
五阿不翁功

佐佐木隆演劇碑建設委員会

劇団文化座
EST.1942



〒114-0014 東京都北区田端3丁目22-12
03-3828-2216
info@bunkaza.com
website: http://www.bunkaza.com/



佐佐木隆演劇碑
〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16
秋田市文化創造館敷地内 南側奥



佐々木愛から感謝の言葉を(左から)副碑デザイン・岡田登様、佐藤和志理事、石苑・東海林正紀様、草薙孝悦様、遠藤康様



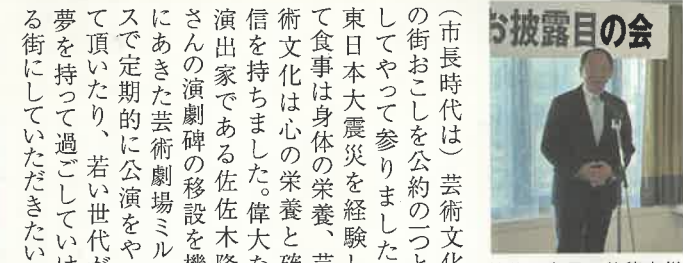
演劇碑からほど近くの秋田キャッスルホテルに場所を移してのレセプション



秋田「鶴の湯温泉」会長・佐藤和志理事による乾杯



JR 総連 山田知様 秋田県芸術文化協会会長 富橋信孝様 秋田魁新報社長 佐川博之様



前秋田市長・穂積志様

(市長時代は)芸術文化の街おこしを公約の一つとしてやって参りました。東日本大震災を経験して食事は身体の栄養、芸術文化は心の栄養と確信を持ちました。偉大な演出家である佐佐木隆さんの演劇碑の移設を機にあきた芸術劇場ミルハスで定期的に公演をやって頂いたり、若い世代が夢を持って過ぎていく街にしていきたい。

長い間、秋田市の金照寺山から秋田の文化活動を見守ってこられた佐佐木隆先生の演劇碑が、文化活動の新たな拠点であるミルハスの正面、文化創造館に移設され、新たに副碑も建立されましたこと、誠にめでたくございます。秋田の演劇活動に大きな力を与えていただいた文化座と、関係者の皆様方の御尽力に心より敬意を表すとともに、ますますのご発展を心より祈念申し上げます。
秋田市長 沼谷 純



松浦幸子会長 山川いち子理事 野上宏理事



最後まで笑顔の絶えない和やかな会となりました。

後援会最古参・佐々木慧さん



碑から見た(正面)あきた芸術劇場ミルハス (右)秋田市文化創造館



秋田魁新報の取材を受ける佐々木愛

2025年9月22日 @ 秋田市 佐佐木隆演劇碑 お披露目会



副碑のお顔が微笑んでいた 文化座後援会秋田支部 荒谷 紀子

演出家佐佐木隆の演劇碑が金照寺山の七ツ森に建立され、除幕式を迎えたのは一九七九年九月二十五日のことでした。
それから約半世紀、この度千秋公園の入り口・秋田芸術劇場ミルハスの向かいに移設され、副碑と共に工事が完了しました。これをお祝いして、去る九月二十二日、秋田キャッスルホテルで「佐佐木隆演劇碑お披露目の会」が開催されました。当日は、十二名の来賓をはじめ、東京から来秋した十二名の後援会の皆様や公演地から駆けつけた佐々木愛さんと劇団員十二名と秋田県内から集まった十七名が出席しました。また、孫の耕児君と明子さん、ひ孫の游君と拳良君と琴音さんも同席しました。孫から玄孫まで六人がそろった姿は、この日にふさわしく、おめでたいことだと感じました。
碑の周辺は紅葉が見頃となり、人出が多くなりました。静かな山から賑やかな里に移り、副碑のお顔は微笑んでいるように見えました。



長年秋田支部を支えていただいた荒谷紀子さんに感謝のお花を